

## 第26号



2011. 7月



発行 城里町社会福祉協議会 ☎ 029-288-7013 FAX 029-288-7021 ホームページ <http://www.shirosato-syakyō.com/>  
編集 広報ボランティアグループ



## 青山花しようぶ祭

今では、毎年恒例となりました青山花しようぶ祭が6月18日(土)、19日(日)にわたり開催されました。

会場となった休耕田2千2百㎡には、60種類、約1万6千株の花菖蒲が植えられており、それぞれにピンク、白、紫等たくさんの大きな花をつけ精一杯背伸びをして咲いていました。

18日には、開会式、七会中学校のブラスバンドの演奏、商工会女性部によるフラダンスなどのイベントが行われました。同時に花菖蒲苗、支援センターつくしの作品、商工会の飲食物などの販売も行われ、沢山の人が買い求めていました。

19日は、薄日のもれるまですの天気でありましたが、10時を過ぎる頃には、駐車場の出来ない車が出てしまう程の人出となり、菖蒲

園の中も人でいっぱい。写真を撮る人や匂いをかぐ人、ベンチに座ってゆっくりと花を眺める人、それぞれの楽しみ方があるようで皆満足そうでした。

この日は、お茶会もあり、花に和装はピッタリ！また、町社会福祉協議会のカレーライスの販売、さらには18日に引き続き、花菖蒲苗の販売と支援センターつくしの作品販売もあって充実の2日間でした。

主催者である山崎さんは「会場の管理、販売のお手伝いをしていただいた男塾の皆様をはじめ、出店やイベントに参加された各団体の方々の御協力に心から感謝いたします」と語っておられました。

なお、花菖蒲苗の売上12万4千円、お茶会の売上3万6千862円は、全額社会福祉協議会へ寄付されました。

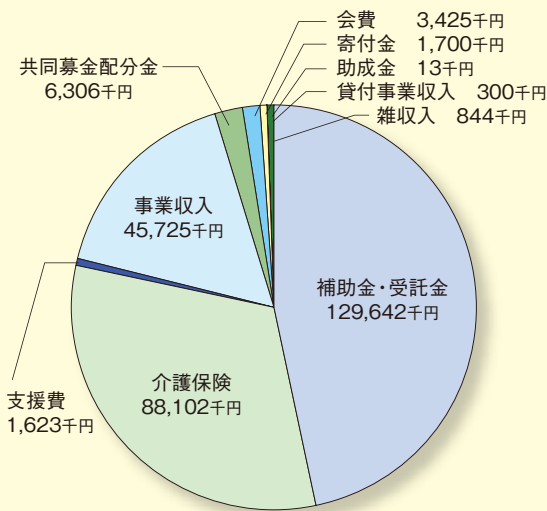
# 城里町社会福祉協議会事業計画

## 平成23年度 収支予算概要

### 収入の部

(単位：千円)

**収入 277,680千円**



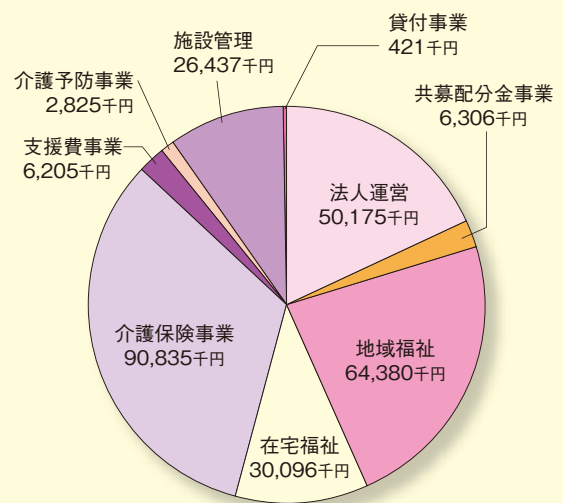
区分	予算額	説明
補助金・受託金	129,642	町からの補助金・受託金
介護保険	88,102	介護報酬収入・利用者負担金収入等
支援費	1,623	支援費利用料収入等
事業収入	45,725	利用者収入 (特別会計)
共同募金配分金	6,306	共同募金の配分金
会費	3,425	世帯会費、特別会員会費
寄附金	1,700	寄附金
助成金	13	県社協助成金
貸付事業収入	300	貸付償還金等
雑収入	844	事業収入、利息収入等

### 支出の部

(単位：千円)

**支出 277,680千円**

区分	予算額	説明
法人運営	50,175	法人本部運営
共募配分金事業	6,306	広報紙作成・福祉教育事業・災害援護
地域福祉	64,380	地域ケア事業・ボランティア事業・ デマンド交通事業
在宅福祉	30,096	紙おむつ配布・障害者福祉作業所・ 配食サービス
介護保険事業	90,835	居宅介護支援・訪問介護・訪問入浴・ 通所介護
支援費事業	6,205	日中一時支援事業・障害者支援費事業
介護予防事業	2,825	ふれあいサロン事業
施設管理	26,437	老人福祉センター管理事業・ 保健福祉センター管理事業
貸付事業	421	生活福祉資金・小口貸付事業



# 平成23年度 社会福祉法人

## 事業計画・予算

### 基本方針

城里町社会福祉協議会は、地域に根ざしたさまざまな住民参加型の地域福祉活動を推し進めています。さまざまな社会資源とのネットワークを活用し、地域の方々との協働を通じ、「ともに生き、積極的に支えあい、活力ある福祉のまちづくり」の実現をめざし、地域の福祉向上と増進に努めます。

### 重点目標

1. 地域住民の福祉意欲向上に努めます。
2. 住民のもつ課題を顕在化すると共に、地域のニーズとして共有し、福祉サービスの向上を図ります。
3. 地域組織との協働により、住民主体の事業展開を図ります。
4. 住民参加により事業の評価検討をし、地域福祉活動計画を策定します。
5. 社会福祉協議会職員体制の確立を図り、資質向上に努めます。

## 城里社協 新理事の選任

平成23年6月9日より城里社協の新たな役員が選任されました。  
任期は、平成25年6月8日までの2年間となります。  
よろしくお願いいたします。

会 長	阿久津 藤 男	理 事	横 倉 芳 郎
副 会 長	阿久津 勝 紀	理 事	島 榮
副 会 長	大 越 正 子	理 事	園 部 良 夫
常務理事	小 山 一 夫	理 事	近 澤 治 代
理 事	會 澤 弘 次	理 事	小 野 昭
理 事	寺 門 茂 雄	理 事	山 口 充 彦
理 事	加藤木 正 道	監 事	加倉井 幹 由
理 事	大 澤 若 葉	監 事	萩 谷 竹 二
理 事	阿久津 春 雄	監 事	富 田 孝 一

かざぐるま

アカザの杖を寄贈

富永 和也さん (磯野)

3月10日(木)に「お役立て下さい」と社協に20本の杖が富永さんより寄贈されました。杖はアカザの杖で、今年83歳になられる富永さん自らが作られたそうです。アカザは畑や空地などに多い一年草の雑草で、富永さんはこれを加工して杖を作りました。



富永 和也さん

きっかけは、上入野の知人が畑にあったアカザを取置きしてくれていた事で、富永さんがこれを刈入れ、川に浸し表面の皮を腐らせ皮をむき、ハウスで乾燥させ加工しました。

使う人によって長さが違うので色々の長さに切り、ドリルで穴を空け、竹の楔で把手を付け、バーナーで節を焼き、ニスを塗り、先にゴムカバーをつけ仕上げます。

刈入れから仕上げまで、約3ヵ月かかるそうです。

一昨年、昨年と2年間で200本の杖を作り、親戚・近所・病院・薬局等にあげたそうです。出来上がった杖は、軽くて丈夫で高齢者の方に大変喜ばれています。

「欲得なしに、暇にまかせて作った。人に喜ばれる事が一番の楽しみです」と、富永さんはニコニコ笑いながら話してくれました。

富永さんは杖の他にも材料が身近にある竹で竹箒や熊手も作り、これも分けてあげるそうです。

「今まで隣近所・地域の人から色々と助けられて生



アカザの杖

きてきた。世話にもなったが、自分も地域の為に色々貢献もしてきた。これからも……」と、最後に付け加えてくれました。

杖作り等を通しての地域との強い繋がりが、今の富永さんの生活の張り、健康の秘訣になっている様です。富永さん、すてきな杖がありがとうございます。大切に使用させていただきます。



アカザ



収穫時

つくしの四季

6月8日(水)、つくしの仲間達は、社会見学として水戸市の天狗納豆笹沼五郎商店へ行きました。日頃より、近所の納豆店からお仕事をいただいていますので、納豆作りを見学することで、作業についての思いが深まるのではないかと計画しました。

11時、天狗納豆に着き、早速工場の見学をさせていただきますました。お店の方から、大豆が納豆になるまでの話、大震災で発酵中の納豆が半分使えなくなったこと、納豆菌が手に入らなくて苦労したことなどの説明がありました。その後、パック詰めの様子を見たり、蒸かした豆を試食させていただいたり、仲間達からは「工場はよくできているね」、「納豆が機械から出てきた。機械で

フィルムに小さな穴をあけることを初めて知った」、「楽しかったです」という言葉があり、興味津々でした。次に、お店の2階にある納豆展示館も見学しました。明治22年の創業当時の写真を初めとして、当時の納豆を作る道具等が展示されています。とりわけ全国の納豆製品のラベル展示コーナーでは、いつも作業をしている製品のラベルがあったので、仲間達は大感激でした。



# 桂うぐいす会だより

## 桂うぐいす会



桂うぐいす会は、みなさまに配食サービス事業をはじめ、15年が経過いたしました。当初より合併前までは月に1回のペースで無料の配食サービス事業を行っておりましたが、合併とともに月2回の配食とし、値段も1食200円をいただくこととなり、平成23年5月まで続けてきました。

以前より常北地区及び七会地区が毎週1回のペースで配食サービスを行ってまいりましたので、桂地区もいつかは他の2地区に合わせたかと思っております。

そうすることにより今まで以上に安否確認がし易くなる、という利点も出て来るので、少しでも早く実施するという方向で検討してまいりました。ただ配食回数が増えればその分個人の負担は増えるだろうし、配

食の方法は地区独自でも良いのでは、といった意見もあり、また弁当を作る人、その弁当を配達する人の確保も大変かな?といった心配もありました。

でもやはり町としてサービス内容を統一したいということ、さらには最低でも毎週1回は利用者の生活状況を確認出来る、というメリットを考えると、ボランティアの人数をそろえることも大切なことでした。お



お弁当作りの様子



陰様で6月より他の2地区同様毎週1回の配食活動を始めることが出来ました。

うぐいす会の作りたてのお弁当は新鮮で品数も豊富、特に冬のあたたかいお弁当はともうれしいという声を聞くこともあります。これからお弁当をお届けすることによって、皆様の日頃の健康状況や食事に対する興味や栄養バランス等を考慮ながら、配食につとめていきたいと思っておりますのでこれからもよろしくお願い致します。

尚6月より桂地区では毎週金曜日、1食200円でお届けします。申し込みは城里町社会福祉協議会(029-288-7013)又は最寄りの民生委員さんまでお願いします。

## しろさと青空市

「しろさと青空市」が6月25日(土)午前10時から、常北保健福祉センター駐車場で開催されました。「がんばっぺしろさとプロジェクトチーム」(代表 大越福枝さん)が、活力ある城里町の復興と町の活性化を図ることを目的として開かれたものです。

農産物の展示即売や、そば、豚汁などの飲食コーナーがあり、多くの人で賑わっていました。



城里町地域活動支援センター(つくし作業所)では、フラワーアレンジメント、手漉きのはがき、クッキー、布ぞうり、ハンドモップ、アクリルたわしなど、皆で作った品物を販売しました。

## しろさと 荒沢不動の滝

御前山県立自然公園(城里町と常陸大宮市の2市町にひろがっています)の中



にある「荒沢不動の滝」を訪れました。梅雨の時期は水量も豊富で、豊かな自然の中、青葉に見えかくれしつつ岩の間を滔々と3段階になり落ちてくる滝は神秘的で心が癒されます。滝の水は山間を流れる相川に注いでいます。(城里町ガイドブックに掲載されています)

# 地域福祉活動計画の策定に向けて

6月24日(金)第1回地域福祉活動計画策定会議が、城里町常北保健福祉センターで開催されました。策定委員は、民生委員・区長・保育園園長・ボランティア・保護司・子育て中の保護者・民間企業・行政などの地域の様々な分野から選任されています。

地域福祉活動計画は、社会福祉協議会を中心に、地域住民や各種団体が主体的に策定する活動・行動計画です。

第1回目(金)の策定会議では、まず策定委員会の方々に「なぜ地域福祉活動計画を策定するのか」を常磐大学の池田幸也教授にアドバイスをいただきながら学んでいただきました。

ほとんどの地域では、多くの問題を抱えています。まず、城里町の地域福祉の現状を把握し、その理想に近づく為に何をしなければ

いけないかを考えます。活動計画では、それをいつまでに、どのように実施するのかを策定するものです。

計画書の発行は、来年3月を予定し、今後数回にわたり会議を開催します。

誰もが安心して暮らすことのできる福祉のまちを目指して、地域の住民、団体と社協が協働し、地域福祉活動計画の策定に取り組んでいきます。



## 「社旗」を寄贈

平成23年3月に城里町社会福祉協議会を退職しました檜山由紀子さんが、退職記念として「社旗」を寄贈されました。



社会福祉協議会の「社」を凶案化し「手を取りあつて明るいしあわせな社会を建設する姿」を表現、全国共通のマークとなっています。

今後の式典、催事に活用されます。

## 母子家庭のママさん、集まれ〜!!

城里町の母子寡婦福祉会では、母子部を立ち上げる予定です。一緒に活動をしてくれる仲間を募集します。ぜひ、会員になってみませんか。

### ◆活動内容

親子で楽しめるイベントを企画(バーベキュー・クリスマス会等)子育て・仕事・暮らしの事など、母子家庭ならではの悩み・不安について仲間同士で話したり、情報交換できる場所づくり

### ◆入会条件

城里町在住の母子家庭のママさんならどなたでも!!

### ◆会費

年間 1000円

### ◆問合せ

城里町母子寡婦福祉会  
029-288-7013



## シルバー人材センター 料金の変更について

当センターでは、草刈、草刈、剪定、障子の張替等のご依頼を受付けております。

電話での依頼も受付けておりますのでお気軽にご連絡下さい。

(029-288-7013)

なお、7月より一部の就業料金が変更となりますのでご注意ください。

改正前		改正後	
仕事の種類	金額	仕事の種類	金額
手刈り	700円/時	草取	800円/時
機械 チェーンソー	燃料等 200円/時	機械 チェーンソー	燃料等 300円/時

# 町 の 老人福祉センター

仲間で作る、一人に来て仲間を作る

人は一人では生きられませんが、特に高齢になると切実に感じる事です。また、仲間との付き合いは、体や心の健康にも役立ち、ひいては介護予防にも繋がります。その高齢者の仲間作りのための施設が町にあります。「やまゆり荘」と「桂老人福祉センター」(以後センター)です。これらの施設には、団らんのための部屋が数室、浴室、リラックサスできる健康機器、カラオケ機器を備えた大広間があります。利用者は仲間と連れ立って来たり、一人で来たり、曜日を決めて数人で集まりカラオケを楽しんだり、高齢者クラブの仲間同士で定期的に利用したり、と、いろいろあります。

しかし、二人の施設長は、町全体の高齢者に広く利用してもらいたいのに、利用者が固定化しつつあり、なかなか広がらないのが悩みだと言います。

**利用料400円、これで一日楽しむ**

利用料金400円(町内60歳以上の場合)、これを利用者は部屋、風呂、カラオケなど施設内の設備を自由に利用できます。飲食物



桂老人福祉センター



やまゆり荘

の持ち込みは両施設とも自由ですが「やまゆり荘」では専任の調理人がいて、蕎麦、うどん、和食、洋食、やきとりまで注文できます。しかし、センターでは食事の注文はできません。

## ふれあいタクシーで来る人も

利用者は、自家用車が多いようですが、中には仲間同士でふれあいタクシーを使って来る人も目立ってきました。

高齢者にとって、長年積み重ねてきた経験や家族は宝です。それらを話題に語り合うこと、また、子供や孫の将来を思い、今の社会を談じる事、それは、高齢者にとって若さと健康を維持する秘訣です。それが気兼ねなく行えるところ、それが町の老人福祉センターのようです。

### 連絡先

#### やまゆり荘

029-288-5568

#### 桂老人福祉センター

029-289-3081

## 暮らしの安心をお手伝い

### 日常生活自立支援事業

毎日の暮らしのなかには様々な不安や、判断に迷うことが色々あります。こうした時、この事業は福祉サービスの利用手続きや、金銭管理のお手伝いをして、安心に暮らせるようにサポートしています。

#### ◆利用できる人は?

認知症高齢者、知的障害者、精神障害者などで、福祉サービスの契約などひとりで判断することが不安な方や、生活費の管理に困っている方が対象です。

#### ◆サービスの内容は?

福祉サービスを利用する際の様々な手続きや契約、預貯金の出し入れ、日常生活に必要な利用料などの支払い手続き、年金手帳や証書など大切な書類の管理などのお手伝いをします。

#### ◆利用方法は?

この事業は社会福祉協議会が実施しています。まず社協へ連絡して下さい。本

#### ◆費用はかかるの?

相談から支援計画の作成、契約の締結は無料ですが、それ以降のサービスは有料になります。

その他詳しくは社協にお問い合わせ下さい。

029-288-7013

#### 福祉サービスとは

介護保険法に基づく高齢者福祉サービス、障害者自立支援法に基づく知的障害者、精神障害者福祉サービスなど。例えばホームヘルプサービスや、デイサービス、食事や入浴サービスなどあります。



# わが町のさわやか元気さん ②②

阿久津忠蔵さん 88歳  
小勝 シツエさん 87歳

3世代の家族が3代続く阿久津家は、閑静な広い敷地の高台にあります。

忠蔵さんは健康そのもので若い頃から病気が知らず、医者知らずの生活を過ごしてきました。

シツエさんも緑内障のために、視力は弱くなりましたが、お元気です。

富田 イチさん 87歳 徳蔵

イチさん（通称ハルノさん）は長男ご夫婦と暮らしています。別棟に居ります。毎日の食事は3人でしています。息子さんの椎茸栽培のコマ入れを3年前まで手伝いました。

「今は畑や庭の草取りをしています」と87歳と思えぬ若々しい明るい笑顔で、



今は長男の道男さんに代をゆずり、平穏な日々となりましたが、子育ての時代は苦勞をされたそうです。様々な仕事を体験しました。煙草の耕作、鶏の卵を孵化させて、雛を育てる仕事、1番大変だったのは黒牛の飼育で、15年間続けました。農機具のなかった時代に、農業も兼ねていましたので、毎日2人で必死に働いたそうです。

話してくれました。寒い時期は、手編でセーター等を編んだり、孫のバツクを作ったり。どれも見事な出来ばえに驚きました。

9人家族の暖かい絆を更に深めて、阿久津家の歴史が末長く続きます事を、お祈り致します。



た。気さくなイチさんの家には近所の人達がよく来てくれるので楽しみです。そしてペタンク、グラウンドゴルフ等と趣味も豊富です。特に月一回の徳蔵サロンが楽しく、毎回出席しています。

## ホームページをリニューアル

城里町社会福祉協議会のホームページをリニューアルしました。

広報紙「かざぐるま」もカラーで全ページ見ることが出来ます。さらに社協職員が日々の出来事をお伝えするスタッフブログを新しく追加しました。新しいホームページのアドレスはこちら

<http://www.shirosato-syakyu.com/>

## 平成23年度 人事異動及び新規採用職員紹介

平成23年度より、人事異動に伴い事務局長が新たに就任となりました。

また、地域活動支援センター指導員として新規採用となった嘱託職員です。

事務局長 軍 司 修



嘱託職員

地域活動支援センター

嶋 田 英 輔



## 目次

- 青山花しょうぶ祭……………1
- 平成23年度事業計画……………2・3
- さらっと生きる……………4
- つくしの四季②……………5
- 桂うぐいす会だより……………5
- しらすと青空市……………5
- しらすと②「荒沢不動の滝」……………6
- 地域福祉活動計画の策定に向けて……………6
- 「社旗」を寄贈……………6
- 母子家庭のママさん、集まれ〜!!……………6
- シルバー人材センター……………6
- 料金の変更について……………6
- 町の老人福祉センター……………7
- 暮らしの安心をお手伝い……………7
- わが町のさわやか元気さん②……………8
- ホームページをリニューアル……………8
- 平成23年度人事異動及び新規採用職員紹介……………8
- 目次……………8
- 編集後記……………8

## 編集後記

しとしと降り続く雨に打たれ、青紫色や淡紅色など色鮮やかな紫陽花の小花をゆつたりとした気持ちで眺めている。こんな情景が今頃の季節であったはずだが、今年はその風情がない。いわゆるカラ梅雨といったところか。やはり梅雨であるならば雨を降らしてもらわないと困ることもある。紫陽花に限らず農作物も雨を欲しがっているんだから。(わ)